

# 廣報 東白川

行 發  
岐阜県加茂郡  
東白川村公民館  
今井印刷所  
今井印刷

## 新年のことは

東白川村長  
河田勘市

新年おめでとく地味ながら然し着実に建設されつゝありますことには誠に喜びとする所であり村長の皆ます。

村民の福祉増進を図るため健康を村の目標と定めて迎えられま十年。さきに神土小学校がした事を心健康優良校日本一に表彰せられ又昭和三十六年度齒の申上げますよい子供の学校として岐阜平素、皆様県一の表彰を受けたのであには村政進ります。健康教育の充実と展のため共十年一貫村民の健康保協力賜り感特に努め、保健衛生漸く軌道に乗つたものと思われま謝申上げています。新す。「我々は健康で長生きらしき年にしたい」これは誰しも望む当り昭和三十六年の村成人病予防対策としての健康を顧みま康診断でありますが、従来歩みそのの血圧測定のみでは満足せず、検尿、血圧及び心電計

測定と共に医師の厳密診断を全額村費負担で実施したのであります。この事業は町村として恐らく全国で始めてだと云われております。

胃カメラ撮影による胃癌の早期発見治療は最も大切なことで当該者に対し年末より着手したのであります。

この事業は簡便な人間ドックとも云うべく非常に注目され年末までに一応検診を終りましたが今後の対策処置こそ重要であります。治療医学の進歩と共に今後予防医学の推進徹底を期したいと存じます。日頃健康で克く百歳の長寿を全うする村民たらんことを念願するものであります。「健康にして豊かな経済」これにし

之には何んといつても本村は山林の充実であります。村内八千ヘクタールの山林の造林撫育管理経営は最も重大でありまして、年々三〇ヘクタールの造林は治山治水だけでなく将来に備えて大切な事業であります。村の分收造林は全国初のケースにして四〇ヘクタールの契約と共に着工しました。村有林の撫育管理には特に意を用い保安林改良事業年

よつて四一、一メートルの永久橋として年末見事に完成し、久須見公共第二次線造林事業八二五メートル年末大体完成、西河日向林道単事業により林道網は年々拡充整備され本村の林業発展期して俟つべきものと信じます。

稲作は史上空前の最高の記録を示し、四、六〇〇俵の政府売渡しも完了、台風の被害も又病虫害もよく之を免除、この年にこの成果を挙げ得たるは全く農家各位の日頃の研究と努力の結果にして深甚なる敬意と感謝の意を表する次第であります。茶園の造成、集団桑園の開墾等新農村建設事業は着々進められ特別助成事業としての東白川農事センターは十一月完成し、その多目的利用によつて併せて産業の振興に寄与するものであります。これら産業経

落の振興には東白川農協開設等村内の道路は年々延長せられ道路愛護によつてその実績着々と奉り役職員各位の努力に対し感謝申し上げる次第であります。商工業又近時活発な発展を続けてまいりましたが商工会等組織に関する法律の制定を見、新らしく東白川商工会が設立され普及員を設置、いよゝその機能を發揮せらるるに至りましたことは誠に慶祝に堪えません。今後経済伸長に大きな貢献せられるものと信じその積極的活動に大きく期待するものであります。

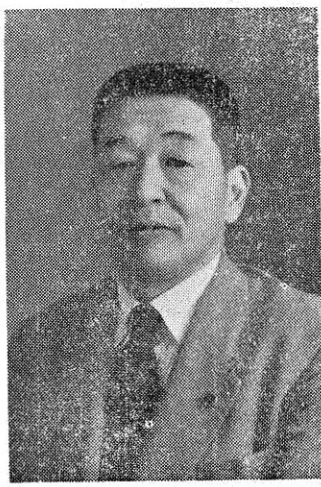
愛村精神の熱意に燃え村民の生命財産を護り、防火治安維持確保の大任を担う東白川消防団は団員一致協力その活動も目覚しく八月二十日中部七県消防ポンプ操法大会に堂々四位獲得し、第二戸台風の被害に被益するも大にして誠に措置よろしく知事感謝状を受け従来幾多の功績認められ十二月一日岐阜県知事受賞の榮譽に浴したのであります。この輝しい消防団員に徹して村を護るために献身努力せられ誠に感謝の外ありません。

土木事業については大明神出合橋及中谷橋の永久橋の實現、中谷崩山農道の

開設等村内の道路は年々延長せられ道路愛護によつて逐次改善を見、交通の利便大を加えてまいりました。十月十日大明神付知間バス運転が開始され、神土佐見間については数度に互る視察により中谷橋の永久橋と路面改修により村内の完全を期したりといえ全線未だ完全といふ、難く今春運転開始の止むなきに至りました時代は通信網を要求し公社電話の併合増設はむしろ第一次の増設実現し併せて多年懸案たる有線放送電話の開設も村民皆様の要望に

本村の産業経済文化の進展に被益するも大にして誠に慶賀に堪えません。

教育は一日も勿せにすべからず中学校増築は多年の懸案にして敷地買収契約成立し、技術家庭科の設置と共に具体化するものであります。神土小学校調理室は昭和十七年の建設でこれに一部腐朽を見現在の学校完全給食の実態より見る時不



次計画で着工し合せて十一月公有林経営計画の樹立を見ましたが本村の前途に明るい見透しを見たことは慶賀に堪えせん。全国稀に見る成人の山も第一地区の造林を完了し漸次増大し心身共に健康なる青年の成長と共にすく／＼と健全に成育する事は誠に喜ばしい限りであります。

白川の清流にその姿を写す高橋は地元各位の努力に

# 年頭のことは

## 東白川村議会議長

### 桂川富次郎



昭和三十七年の新春にあけまして家屋をはじめ農作物、山林樹木等に相当の被害

お揃いで楽しいお正月をお迎えになりましたことを心からお慶び申し上げます。

漸進的ながら多くなつた事は誠に慶びに堪えない事です。

かえりみませれば、昨年は第二室戸台風の襲来をう

力強さを示すのであり、且つ東白川魂の発露として天

生活と文化は時々刻々と進んで居る現在、限りなき

(一面より続き) 完全であり県の地方振興補助金百万円の交付により総

明けまして新年おめでと御座居ます。

このようにして力強く

この結果として

切るための農業基

東白川病院

歩みを進み所感の一端を述べ

に御座居ます。皆さんには御一家お揃いにて楽しく和気満ちあふれる中に新しい昭和三十

激甚であつた

努力は実に言葉に

このようにして力強く

東白川病院

歩みを進み所感の一端を述べ

の元旦をお迎えの事を謹んでお祝い申し上げますと共に益々御元気に御健康で御多幸を心からお祈り申上げ

これら被害の

努力は実に言葉に

このようにして力強く

東白川病院

歩みを進み所感の一端を述べ

一年の計は元旦にありと申されて居ります如く、経営の計画は絶対の要素で営農の計画書、肥料設計書、家計簿の記載等については早春に家族全体会議に於いて検討し研究の上一家の憲法として樹立し必ず実行する事をお願い申上げて協力を願ひ申上げました

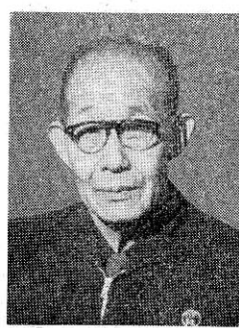
これら被害の

努力は実に言葉に

このようにして力強く

東白川病院

歩みを進み所感の一端を述べ



## 迎春

### 東白川農業協同組合長 安江専一

量的にも、質的に於いても前年を上廻る実績となり、養蚕についても計画以上の

協業共同の利点を活用して無駄と骨折り損をしない事に一部落一家の考え方を推

歩みを進み所感の一端を述べ

## 東白川病院 林先生が退職

農業近代化関係の三法も制定され農

東白川病院の林博敬(医学博士)先生が昨年十二月

歩みを進み所感の一端を述べ





知事旗の荣誉に輝く

恒例「出初式」を挙行

東白川消防団

恒例の新年消防出初式が一月九日午前九時三〇分から、神土小学校々庭に於いて知事旗授彰披露を兼ねて盛大に挙行されました。

当日は、岐阜県知事代理として後藤総務部長をはじめ多数米賓の列席のもとに伊藤団長以下二百有余名の団員が果敢な訓練ぶりを披露しました。なお、当日の消防出初式で表彰された優良団員は次のとおりです。

△県知事表彰功労章

(副団長) 神戸 奨

△県消防協会会長表彰功績章

(部長) 今井好美

△郡消防協会会長表彰

安江完一(分団長) 安江林(副分団長) 安江敬一(班長) 田口幸美(班長) 小池敬三(班長) 苅田鎮(班長) 加藤裕暉(班長) 村雲勝(団員)

△団長表彰

安江勝、今井克彦、田口治道、安江千之、安江茂安江信次、田口穰、梅田幸彦、栗本郁郎、今井春巳、長尾光二、熊崎進、安江典博、鈴木泰宏、村雲忍、安江正木、安江武一郎、安江伸雄、田口茂

尚、この日多年消防団員△入団者(十八名)

務に活躍された三十四名の方々が退団され、十八名の新進気鋭が入団することになつていますが、その入退団者は次のとおり。

△退団者(三十四名)

神戸奨、安江文吾、今井好美、村雲利彦、今井力今井富夫、古田芳一、伊佐治幹夫、村雲馨、村雲文雄、安江涉、新田利一、樋口久一、今井弘彦、安江至好、今井保、安江辰也、今井保三、今井幸四郎、今井照夫、近藤富夫、伊藤勝、苅田喜郎、伊藤泰三、安江均、安江歳教、笹俣昭、安江民雄、安江厚、田口博、安江亘、安江隆造、安江幹夫、安江守生

古田政春、今井恒行、中島潮巳、安江保隆、安江訓、安江勇造、今井直道、田口武巳、安倍博之、今井幹雄、藤井茂樹、今井八十巳、安江矩夫、野村利秋、安江啓次、稲垣昇桂川英郎、桂川益夫

この機会に、本村消防団の概況をお知らせします。

◆沿革

明治四十五年四月二十八日郷土治安確保の目的をもつて、神土平部落戸数百二十戸の世帯主を主として、私設東白川村消防組を創設し、組頭に服田謹一郎氏、小頭栗本初次郎、森藤市郎の各氏を幹部として、組員八十名、腕用ポンプ二台を設置し、技術訓練に精励、全村一円に拡充強化するよう努力した。その結果組織の重要性と任務の重大なることが村当局に認められて、大正十年六月八日に公設として改組されるとともに隣接部落の大口、上親田の一部を加えて組員も百名に増員、腕用ポンプ二台を増設、器具の整備も年々計画されてきた。

大正十三年三月十一日東白川村一円において消防組を組織することになり、当時最も近代化したガソリンポンプ三十馬力一台を購入

設置して、統合準備が進められ、同年四月一日待望の全村統合の組織をもつ東白川村消防組の編成が出来上つた。組員二百名、ガソリンポンプ一台、腕用ポンプ六台の訓練は、さん然たるものがあり、昭和十四年四月一日東白川村消防組が発展の解散するまで、県知事表彰一回を受ける等、かたがたる業績をのこした支那事変が拡大することにも警防団令の公布があり消防組の組織も対戦的となり、昭和十四年四月一日消防組を解散すると同時に、東白川村警防団を創設し、初代団長に安江浩平氏が就任した。この頃より消防機具の機械化が強調せられ、昭和十六年四月十日村民の協力により、消防ポンプ自動車一台を購入し、この機動力を中心に更に訓練を重行つた。

この後消防団は、郷土治安維持確保と訓練に精進し昭和二十五年四月二十九日県知事表彰金馬れん一条を授与され、益々団結を固くし訓練に努めた。

昭和十九年には、戦場は日本週辺に接近し、国土防衛が叫ばれ、果下で優位をほこつた消防ポンプ自動車も国土防衛計画参加のため同年十月一日供出するとともに、同年八月には、東白川消防委員を組織し、警防団の活動運営を円滑ならしめるとに、同年九月一日警防団を解散して、東白川村消防団を設立し、団長に服田守彦氏就任、同月十二日に東白川村消防団結団式を行つた。

昭和二十年八月占領政策により世情の混迷するうちに今までの組織を利用し治安維持に尽力し、昭和二十一年一月一日には東白川村警防団改組を実施し、団長に伊藤治雄氏の就任を得、翌二十二年四月には、団員二百三十名、消防ポンプ自動車一台、腕用ポンプ七台ガソリンポンプ一台で編成を行つた。

昭和二十七年三月十九日日本消防協会長より、竿頭及び表彰状を授与されたのを契機として消防装備の機械化を計画し同年八月より昭和三十三年三月まで、大型消防ポンプ自動車一台可搬動力ポンプ十二台と初期の機械化計画をほぼ達成したので、今後は水利施設の完備に着手、昭和三十一年より昭和三十五年まで水利誘導路四カ所、防火貯水槽四カ所を完成した。

この間昭和三十一年一月

団長に伊藤治雄氏が就任、この年から参加し始めた消防操法競技会に連続優勝又は入賞し、昭和三十三年十二月一日に再び県知事表彰金馬れんを授与された。これより消防操法競技には郡大会では可搬動力ポンプの部で連続三年優勝の偉業を成しとげたり、県大会で準優勝をするなど、県下に東白川村消防団の名を上げ、昭和三十四年、三十六年の二回にわたり岐阜県代表として中部七県消防操法競技大会に出場し、昭和三十四年には六位、昭和三十六年には県下初の入賞(四位)をとげた。

歴代組頭、団長の氏名

組頭(消防組)服田謹一郎 ( ) 伊藤 稔 ( ) 伊藤 隆 ( ) 伊藤 治雄 ( ) (消防団) 服田守彦 ( ) 伊藤 治雄 ( )

もうすぐ完成

神土小給食室

かねてお知らせしておりました神土小学校に建築中の給食室は、総工費三〇三万円、一月中旬完成を目指して、急ピツチに工事が進められております。設備器械もほとんどが入荷取付けを行なうばかりとなり下旬には、そのモダンな給食室で給食が始められる予定です。ちなみに、この給食室は健康に読まれる広報として一生懸命張り張りと思ひます。ご要望をどしどしお寄せ下さい。

(編集室)

明けましておめでとうございませう。今年も皆さ